

《各職員の反省と目標》

◎保育士

保育士 吉田 祐子

【平成23年度の反省】

年長児担任、異年齢担当をさせていただいた1年。年長児にとっては園生活最後の年となるのでたくさんの経験や思い出を作れるように日々の生活や行事一つひとつを大切にするようにした。年長児ならではの取り組みでは子どもたちと話し合いながら進め、意見を尊重し一つのことをやり遂げる充実感や達成感を一緒に味わうことができ自信へとつなげられるようにした。子どもたちと共に経験しながら学ぶことが多く、大きく成長することができたように感じる。また、年齢別活動を工夫する中で楽しく過ごせるよう環境を整えていき、子ども達のお手本となれるよう言葉遣いやメリハリのある行動をするよう心掛け、就学に向けて意識していけるようにした。8人だからこそその絆やたくましく成長する姿を近くで感じるすることができた。「見守る保育」を実践し、異年齢での生活にも徐々に慣れ3・4・5歳児の関わりを通して保育の視野が広がったことで子どもたちの力を信じ、見守ることの大切さを実感した。そして職員間で連携を図りチーム保育ができるよう自分のできることを精一杯しながら保育に励むよう努めた。子どもたちや保護者の方、職員に支えられとても充実した1年を過ごすことができ感謝している。

【平成24年度の目標】

今年度はフリーとして今までの経験を生かし、職員間で意見交換をしながらより良い保育を目指していきたい。見守りを大切に発達にあった関わりや環境作りができるよう努めていく。保育業務もやらせていただくことになったので一つひとつの仕事を効率よく丁寧に進めていきたい。また、担当となった特別保育事業を通して保育知識・技術を見直し、磨きをかけ自己向上に努めていきたい

保育士 新田 美奈

【平成23年度の反省】

異年齢での生活が本格的に動き出す年となった。3月末から移行期間を設けていたが、4月当初は、学年ごとの絆が強く、自由遊びになると同学年の子と過ごすことが多かったり、年下の子の世話をやく時にも加減が分からなくなる姿が見られた。まずは、保育士自身が手本となり子ども同士の関わり方を伝えたり、きっかけ作りをするところから始め、異年齢での関わりが見られるようになってからは、子どもたちのやり取りや子ども同士の世界を大切にしていけるよう近くで見守っていくようにした。このような、関わりを繰り返す中で、3月に入ると年上の子に憧れ真似をしようとする姿や年下の子の世話を程よい加減でやける姿が見られるようになり、年間を通し良い関わりができたのではないかと思う。また、私自身にとって新しい方針になり学ことが多い1年となった。保育方法も色々な形があり、自発性を伸ばす関わり、運動面を伸ばす関わりなどなど、多くの経験を通し、初心を振り返ることもできた。この気持ちを今後も持ち続け、より良い保育ができるように努めていきたい。

【平成24年度の目標】

今年度は、年中からの持ち上がりで年長担任をさせて頂くこととなった。女の子は、おませで、しっかりしていて、男の子は、やんちゃもするけど、優しさがあふれている。そんなクラスの最後の1年に関われることが、何より楽しみである。3学年の中でも1番人数が多いので、異年齢での生活では、年長児として年下の子を引っ張り、同学年の時間では、対等に意見を出したり、ぶつかったり、時には、保育士と接する中で、甘えという名の充電をするなど、色々な感情を経験し、それをしっかり受け止めながら良い関係を築いていきたい。また、改築工事に伴い生活環境が今までと異なるが、チーム保育を活かし互いの気付きを伝えあい、子どもたちの現状にあわせて過ごしやすい環境を設定できるように心掛けていきたい。

保育士 松下 千里

【平成23年度の反省】

担任間で話し合い、連携をとって保育をすることができた。0歳児というまだ小さな子どもたちの生活は、食事・排泄などの基本的な生活習慣を整えていくことを第一に考え、毎日ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で過ごせるようにした。寝ているだけであった子がハイハイ、つかまり立ち、歩行と出来ることが増え、その発達していく姿を近くで見守ることができ、嬉しく思う。少ない人数ということもあり、保護者の方とも話をする機会を多く持つことができ、家庭と保育園との子どもたちの様子を互いに把握、共有できた。これからも保護者の方に「自分の子どもを預けたい」子どもたちに「保育園楽しい！」と思ってもらえるような保育を目指していきたい。

【平成24年度の目標】

今年度は初めての幼児クラス、年長児担任となった。乳児クラスとは違う部分が多く、不安もあるが、経験していく中で先輩職員を見習い、保育を行っていきたい。今年度は保育士6名でのチーム保育となるため、声を掛け合って連携をとり、全員で子どもたちを見守るという意識を持ち、より良い保育を目指していきたい。年長の子どもたちは今年が最後の保育園生活、その貴重な1年間が子どもたちにとって心に残る良い思い出となるよう、楽しい時間を提供し、またさまざまな経験を通して子どもたちと共に成長していきたい。子どもたち、保護者の方との信頼関係を少しずつ深めていけるよう、精一杯努めていきたい。

保育士 老沼 正恵

【平成23年度の反省】

昨年度は、同法人の姉妹園『たま保育園』にて主任保育士見習いを経験させて頂きました。クラスから一歩引いて園全体を見守ることで、子ども同士の関わりや遊びの広がり、保育士の配置、保育に必要な環境の工夫に気付くことが出来ました。

又、園外において、様々な研修会や保育研究に携わらせて頂いた経験は、他園の主任保育士の先輩方との情報交換の場を得ることができ、私にとって自らの保育を振り返り、今後の課題を考える良ききっかけとなりました。

【平成24年度の目標】

今年度は、昨年度の学びを実践へと活かせるよう、日常の保育に工夫を重ね、子どもたちが健やかに過ごせる環境と、好奇心や探究心を高め、経験から学びへと繋げていける保育を目指したいと思っています。

牛ヶ谷保育園へ異動となり、まだ不慣れな部分もあるかと思いますが、保護者の皆様や仲間の力を借りながら、子どもたちと表情豊かに楽しく過ごしていきたいと思っています。

保育士 金丸 岬

【平成23年度の反省】

保育士として働き始め1年。牛ヶ谷保育園も異年齢保育を開始する年となった。私自身もどのような環境設定をしていくか、見守る保育になりどのように子どもたちと関わっていくか、試行錯誤の日々だった。過ごしていく中で先輩の先生方と連携をとり、何度も話し合いながら保育を進めていった。その中でも先輩方の子どもたちとの関わり方や手遊びやリズム遊びのレパートリー、製作案は子どもたちの成長をしっかりと理解下上でのもので、本当に勉強になった。子どもたちも月日を重ねるにつれ、異年齢での関わりが増え、一緒に遊ぶようになったり、年長さんが年下のお友だちの面倒をみるようになったり、年下のお友だちは年上のお友だちの真似をしようと頑張ったりと、少しずつ変化が見られ、学年別の活動の際もできる事が増えたりと、成長していく過程を身近で見ることができ心から嬉しいと感じた。1年働き、改めて子どもが好きなんだと実感することができた為、この気持ちを大切にし、これからも保育していきたい。

【平成24年度の目標】

今年度も引き続き、幼児クラスの担当となった。保育目標を達成するには、子どもの「やりたい」という気持ちや、子ども同士の関わりを大切にしたり、関わりが増える環境設定、子どもたちが「体験できる場」を設けていくことが大切だと思う。そのために、幼児クラスの保育士と連携をとり、話し合いの場を多く設け、より良い保育をしていけるよう努めていきたい。また、自分自身ももっと知識を増やし、先輩保育士のような頼りになり、安心できるような保育士を目指していきたい。

保育士 山口 恵子

【平成23年度の反省】

昨年度は、たま保育園から移動し、牛ヶ谷保育園で4歳児を受け持ち子どもたちのパワーと明るさに後押しされながら、保育にあたることが出来た。環境に慣れるまで少し時間がかかってしまったが、牛ヶ谷保育園で「現在もみんながんばっているが、異年齢保育という新たな保育形態で、保育をさらによくしていこう。」「みんなで考えを出し合って課題解決の具体的な手立てを考えていこう。」という前向きな雰囲気、園全体で取り組んできた。まだまだ道半ば・・・保育者の「やってよかった。」という気持ちが新しい保育の原動力になる。「ここはこうすればよかった。」という反省を大切に、さらに子どもを主体と考えた保育の充実を図っていきたい。

【平成24年度の目標】

春は青、夏は朱、秋は白、冬は玄、遙か、いにしへの歌人たちは風に色をみたという。ふりそそぐ光、草木が目覚める気配、自然の温もりや厳しさ…風とともに渡ってくる小さな季節の合図を色の名前で表現した先人たち…今年はどうな色に染めようか…

新しい気持ちで迎えた今年度。自分のモチベーションと子どもたちとの距離を上手に保ちながら、子どもたちから発せられる小さなサインを見逃すことなく、牛ヶ谷保育園保育士の一員として、チーム保育の確立を目指していこう。そして子どもたちには「大好き」「ありがとう」という言葉を伝えていこう。「多様性」という言葉が叫ばれている昨今。子どもの中に様々な「違い」を知るチャンスに出会えれば、誰かを批判したり、非難したりする気持ちは少なくなっていくように思う。子どもたちは大人以上に多様性を受け入れ、その関わりを楽しむ能力を持っていることが異年齢保育を通して垣間見ることが出来た。日々の保育を振り返りながら、子どもたちと共にいろいろなことに挑戦し、共に感動し、ちょっとした季節の変化、ちょっとした子どもたちの成長にも気づける保育者でありたい。

保育士 岩瀬 豊子

【平成23年度の反省】

1歳児組担任として過ごした1年間。個人差に配慮しながら、子どもたちの成長を見守っていくようにしました。歌や手あそびが大好きな子どもたちとは、毎日歌をたくさん唄っていました。早くに名前を覚えてもらえ、かわいい声で毎日何回も呼んでもらいました。できないことがあって当然でしたが、身の回りのことが少しずつできるようになっていきその過程を保護者の方と一緒に見守りながら、喜びも共感できました。子どもの成長ってほんとに早いです。そして、有り余る力と頑張りには、年齢が低くても驚かされました。楽しく過ごせた1年間だったと思います。

複数担任のため連携を図り、情報は周知できるように気をつけました。前年度より、手作りおもちゃは発達を考えて作れたと思います。ただ、完成が後半だったので、もっと早いうちでの相談、完成だったら、子どもたちももっと繰り返し遊べたと思います。また、散歩の回数が少なかったため、今後取り入れることによって、自然に目を向けさせ、発見や発想に繋げていけたら良いと思います。

【平成24年度の目標】

4年ぶりの幼児組担任となりました。昨年から異年齢児保育となり、初心にかえったつもりで、励んでいきたいと思っています。個々を尊重し、自信に繋がるように、子どもたちが必要としている援助ができるように努めていきたいです。そして、子どもたちの自発性や意欲を育める環境を整えて見守っていききたいと思っています。そのために、自分自身が早く慣れ、保護者の方とも信頼関係を築いていきたいと思っています。

保育士 羽部 なつみ

【平成23年度の反省】

おおもも組からの持ち上がりで、また一年間すみれ組担任として子ども達と過ごしてきたが、二

年間の成長を間近で感じる事ができた。二年間ということもあり、すみれ組後半では子ども達の急成長した姿に幾度となく驚かせれ、玩具の貸し借りから絵の描き方、ハサミの使い方や着脱と沢山出来る事が増え子どもたちの自信に満ちた表情をみる事ができ担任として一緒に成長していった事を嬉しく思う。

また異年齢保育が始まり異年齢の中で子ども達同士の関わりを大切にしてきた。私自身異年齢保育に戸惑い、時には必要以上に指示をだしてしまう事もあったのではないかと反省点が多々あるが、4月当初よりも子ども同士で助け合い、トラブルの仲介をしたり年長児の姿を見て年中・少児が真似をし覚えていく姿をみて異年齢保育の大切さを感じるとともに、自分自身の保育を考えさせられ学ぶ事ができた一年間となった。今後も反省点を活かせるよう、日々保育について学ぶ姿勢を忘れずにしていきたい。

【平成24年度の目標】

今年度はおおも組2歳児の担任をさせていただくことになった。2歳児では「自分で」という気持ちが強くなり、時には出来ずに苦戦をする事もあるかと思うが、個々の発達を把握し一人一人にあった援助を行うことで自信につなげていきたい。また戸外遊びや室内遊び等の遊びの中で、子ども達同士の関わりを深めお友だちと遊ぶ楽しさを感じられるように保育を進めていきたい。

保護者の方にも子ども達の日々の様子や、家庭ではみられない子ども達の姿を伝え信頼関係を築きながら子ども達の成長と一緒に見守っていきたい。

保育士 国府田 唯

【平成24年度の目標】

今年度から牛ヶ谷保育園で勤務させていただくことになり、おおも組（2歳児クラス）の担任をしています。2歳児は自我が芽生え、自分でできるという気持ちが強くなっていく時期だと思えます。子どもたちが身の回りのことを自分でやろうとする気持ちや姿を大切に受け止めながら、日々成長していく子どもたちと一緒に笑ったり、泣いたり、共有する時間をともに喜び、一人ひとりにあった保育を見つけていきたいと思えます。また、担任間・保護者との連携を図り、信頼関係を築いていきたいと思えます。

保育士 田神 久美子

【平成23年度の反省】

おおもぐみで過ごした1年間、子どもたちの成長に、驚きと嬉しさを感じながら楽しく過ごす事が出来た。少しずつ増えていく子どもたちの「できた！」を出来るだけ多く保護者の方に伝えられる様心がけた。年度末には、異年齢児クラスへの進級に向けて環境が変化し、戸惑いもあったが、保護者の方のご理解、協力と担任同士の連携で、日々、穏やかな気持ちで、子どもたちと関わることが出来たと思う。

【平成24年度の目標】

今年度もおおもぐみを担当させていただくことになった。園舎工事、異年齢保育の年長クラス

への進級準備等、環境の変化が多くなると思う。新しい環境の中で、1人ひとりの不安や甘え、欲求を受け止めながら、日々、成長する子どもたちの様子やたくさんの「できた！」を保護者の方に伝え、一緒に喜ぶことが出来るよう、信頼関係を築いていきたい。又、担任間の連携を図り、子どもたち1人ひとりの成長に合わせて、穏やかな気持ちで、関わっていききたいと思う。

保育士 松本 彩

【平成23年度の反省】

こももぐみ1歳児の担任として1年間を過ごさせていただいたが、振り返ると子どもたちに驚かされるが多かったように思う。人見知りの子が多く、最初は、前年度関わる機会が少なかったからか毎日のように泣かれる中で、どうしたら仲良くなれるのか考えながらスキンシップを沢山とるよう心掛けた。少しでもできたことに対して大げさに褒めたり、声掛けをする際にあえてボディタッチをとるようにしたことで、安心してもらえたのか笑顔も増え、子ども同士でのスキンシップも見られるようになった。また、保育士間でどんなことでも情報を共有してきたことで、一人ひとりに合った関わりを考えて接していったように思う。保護者の方にも少しでもできるようになったことや子どもたちの頑張る姿を連絡帳や掲示、口頭などで知らせていくことで共に喜び合うことができた。

【平成24年度の目標】

今年度もこももぐみ1歳児の担任となった。前年度での子どもの姿や自分の働きかけを日々振り返ると共に、子どもたちの姿を見ながらより良い関わりを考え、行っていこうと思う。また、新しい保育士、友達、保育室と環境の変化により、不安や戸惑いもあると思うので、気持ちを十分に受け止めスキンシップを沢山とることで安心して過ごせる環境作りをしていきたい。そして、複数担任の良いところを活かし、連携を図り見守りを大切にしながら子どもたちの良いところやできることを増やしていけるよう、1日1日を大切に過ごしていきたい。

保育士 鈴木 恵美

【平成23年度の反省】

23年度は年度途中からフリーの保育士として勤務をさせて頂き、さまざまなクラスの保育に入りいろいろな子どもたちと関わりを持つことができました。

最初は一日の生活の流れや見守る保育について学んでいくことに必死で、至らないことが多かったかと思います。フリーという立場で毎日異なるクラスの保育に入ることができたため、その日ごとに新しい発見も多く新鮮な気持ちで保育に当たることができました。一人ひとりができることが増えていく姿を見守ることができて、保育士としての喜びと責任の重さを感じました。この気持ちを忘れずに今後の保育に活かしたいと思います。

【平成24年度の目標】

今年度からこもも組1歳児の担任させていただくことになりました。初めて担任を持つことにな

り、フリーのときとはまた違った子どもたちとの関わりの持てることを嬉しく思っています。子どもによって、できることの差が大きい時期で、日々の生活の中の関わりが個々の成長に及ぼす影響が大きいので、十分にスキンシップを図るなど子どもたちが安心できる関わりや安全な環境を持って保育にあたりたいと思います。複数担任ということで職員間の連携を取り、子どもの成長について共通理解をしたなかで子どもの必要に応じた援助をして、自分でできることについては見守っていかうと思います。保護者の方とも信頼関係を築いていき、子どもたちの日々の成長を喜び合えるようにしたいと思います。

保育士 青木 由加

【平成23年度の反省】

こもも組1歳児（15名）の子ども達と楽しく過ごした1年間でした。担任間でも、声をかけあって何事も進められたと思います。単独の保育室で過ごしたとすることで、子ども達とのスキンシップを取ったり、一人でできること、やろうとすることなど、ゆったりと見守ることもできました。保護者の方々とも信頼関係を築けたことも、喜びのひとつとなりました。

【平成24年度の目標】

今年度もこもも（1歳児）の担任をさせていただきます、0歳児と一緒に保育室ということでお互いの担任との連携を密にして保育をしていきたいと思っています。子ども達一人ひとりを把握し、家庭で過ごしているような雰囲気作りを心がけて、ゆったりとした気持ちで、成長を見守っていきたいと思っています。

保育士 大久保 瞳

【平成23年度の反省】

昨年度1年間は自分にとって幼少時代からの夢を叶えられた大きな年だった。嬉しさの反面、実際に保育士として毎日過ごす中で自分の指導力の無さや魅力ある環境設定の難しさを痛感した。また「見守る保育」についてもきちんと理解しているか、実践しているかと毎日模索している日々であった。その中で、先輩方の保育や子どもへの関わり方を見て子どもの発達に合わせて対応していることに気付き、たくさんのお話を学ばせていただいた。また、何よりも担任として受け持ったおおももぐみの子ども達が1年で大きく成長していく姿に驚かされ、その中で子ども達に教えてもらうこともたくさんあった。この1年で学んだことを忘れずに次年度以降に繋げていきたい。

【平成24年度の目標】

今年度はこもも0歳児の担任となり、チーム保育ではあるが初めて自分が主体となり保育をすすめていくことになる。特定の人との愛着関係が重要となる乳児期のため、スキンシップをたくさん図って子ども達との関係を深めていきたいと思っている。また同じクラスに後輩職員が入ることとなり、自分が昨年度先輩方からたくさん学んだ部分を少しでも引き継いでいけたらと思っている。そして保育室は1歳児の子どもと一緒に生活する。違うクラスではあるが、お互いに連携を図りながら刺激しあえる存在になればと思う。

【平成24年度の目標】

今年度から牛ヶ谷保育園で勤務となりました。初めて0歳児の担任をもち嬉しさの半分、不安もあります。保育士として社会人としてたくさん学んでいかなければならないことがたくさんありますが、先輩保育士の姿を良く見て参考にし、日々少しずつ学んでいきたいです。子どもたちとはたくさんスキンシップをとり子どもたちが安心でき、楽しいと思える保育にしていきたいです。また、子ども達の成長を同じクラスの担任間や保護者の方と共に喜び合っていきたいと思えます。子どもたちの成長と共に私自身も成長していきたいです。

【平成23年度の反省】

こもも組0歳児の担任として過ごした1年。子ども達とたくさんスキンシップをとり、笑顔いっぱい充実した毎日となりました。0歳児と1歳児のクラスが分かれての保育となり、成長の過程に1番差がある0歳児であるので、その子ひとりひとりにあわせた関わりやゆったりと安心して過ごせるような雰囲気作りを心がけました。日々の成長を間近でみることができ、その様子をおうちの方にも伝え、ともに喜びあい、一緒に同じ気持ちを共有することができました。担任間では気づいたことはよく話しあうようにし、離乳食やミルクなどの移行においては、これまでの保育や育児経験からリードして提案するようにしました。次のステップへの移行など子ども達の成長にあわせ、無理なく順調に進めることができました。

【平成24年度の目標】

今年度もこもも組0歳児の担任をさせていただくことになりました。広々となった新しい保育室にて1歳児と一緒に過ごすこととなります。0歳児の成長を1番に考え、ゆったりと安心して過ごせるように関わっていききたいと思えます。また1歳児との交流をはかり、1歩前に行く先輩の姿からいろいろなことを自然に学べるような環境作りを考えていきたいです。担任間で声を掛け合い、あたたかい雰囲気の中子ども達の日々の成長を見守っていききたいです。

◎保育アシスタント

【平成23年度の反省】

23年度から「見守る保育」が始まり、雑巾がけや運動あそびなども取り入れられ変化の多い1年でもあり、そこからたくさんことが学べた1年でもありました。幼児クラスの受け入れや一緒に運動あそびにも参加させていただきました。年度初めは「これやって〜」「これどうやるの?」という声にすぐに応えてしまったり、子ども同士で解決できるケンカの仲裁にすぐに入ってしまうなど自分自身「見守る」ことができていなかったと反省することが多くありました。子ども同士で問題を解決しようとしているところや異年齢で自然と助け合っているところを見ると成長を感じると共に「見守る」ことの大切さを改めて感じました。食育の面では、ブロッコリーやカブ等野菜の栽培にも携わらせていただき収穫の喜びを共有することができまし

た。今後も子どもたちの成長につながる関わり方や環境を考えていきたいです。

リサイクル活動では各家庭からお持ちいただいた空き缶やペットボトルの収集やご協力いただいている近隣の保育園にも収集にいかせていただきました。この活動から自分自身もリサイクルやエコを考えるきっかけになり今後も継続して協力できればと思います。

【平成24年度の目標】

23年度の反省点を24年度に活かし子どもが主体となるよう関わりや環境を考え共にたくさんの経験ができればと思います。今年度は生き物の担当なので、昆虫や動物との触れ合いの中で新しい発見や不思議を感じられるよう担当保育士と連携を図り環境の設定をしていきたいと思います。今年度もリサイクル活動で近隣の保育園を回らせていただくことになりました。また被災地支援の絆プロジェクト（ひまわりの栽培）にも参加していただけることになりました。今後もこのような活動を通して地域のつながりや被災地との交流も図っていかれたらと思います。

◎事務員

事務員 小林 智子

【平成23年度の反省】

毎月の巡回指導のおかげで、仕訳の間違いも早めに修正でき、試算表の作成も順調に行えた。勤怠表や商店払い、一時預かり、延長保育事業のファイルメーカーの入力も遅れることなく行えた。予算関係業務が、前年度より遅れてしまった。書類の整理などは、遅れることがあった。その他の業務は、主任や他の保育士等のおかげで、無事に行えた。

【平成24年度の目標】

24年度は、財務も新会計となるため、研修時の書類や財務通知等確認しながら、基本に忠実に業務マニュアルに沿って、業務を行っていきます。また不明瞭なところは、報徳事務所さんに確認しながら業務にあたる。その他の業務として、集金業務、一時預かり、延長保育等ファイルメーカー等いろいろな業務を行うにあたって優先順位を考えて行っていきます。